

施設利用者による地域へのボランティア活動

社会福祉法人 横浜愛隣会

1.法人・施設の概要

◇所在地

神奈川県

◇法人設立日

昭和58年

◇法人実施事業

更生施設…1箇所

◇法人の理念・経営方針

- (1) 利用者一人ひとりの「人権」を大切にすること
- (2) 利用者へ「話し合い」を基本としたサービスを提供すること
- (3) 利用者それぞれの思い描く「自立」への努力を応援すること
- (4) 「地域の一員」として積極的かつ継続的にその発展に貢献すること
- (5) 施設として「透明性、信頼性」を高めることに努めること

◇施設名

民衆館

◇施設種別及び利用定員

更生施設（定員：入所事業 68 名
通所事業 34 名）

2.活動内容

◇活動テーマ

施設利用者による地域ボランティア活動

◇活動の対象者

地域住民および施設利用者



ボランティア活動の様子

◇活動実施の背景、実施に至った理由

当施設では、開所した当初から隣接する公園の清掃等を行っていたが、近隣の施設敷地の草むしりを行ったことから、「母子生活支援施設利用者の引っ越しを手伝ってほ

しい」という依頼があったことを機に、もっと地域に対し貢献できないかを「サービスの受け手から担い手へ」の精神で利用者と共に考え、ボランティア活動が広がった。

◇実施内容

当施設では、公園の清掃などをはじめ、当地域にあるケアプラザの「ちょこっとボランティア」に団体登録し、庭木の剪定や草むしりなど、地域住民からの依頼に合わせたボランティア活動を行っている。

また、青少年の文化活動やサークル活動の場である青年館から、2005年頃に清掃作業の要請を受け、現在は有償ボランティアとして週に2回、4人がローテーションで建物の清掃を行っている。他にも別法人の地域ケアプラザ、高齢者者デイケア施設、保育所でも同様の活動を行っている。

◇活動の効果

「ちょこっとボランティア」の依頼者の中には、庭木の剪定や草むしりなどの作業が困難な高齢者が多いため、業者に依頼するほどではないが、一人では難しいといった思いを解消する手助けとなっている。

施設利用者への効果としては「ありがたいと言われてうれしかった」と充実感を感じている利用者の声が多く聞かれる。社会参加に消極的になりがちだった利用者の励みになっている。

また、ボランティアを通じ自己を認められたことで精神的な自立へとつながればと考えている。

◇今後の展開

地域ケアプラザについては、様々な情報やニーズが集まる場所であり、「ちょこっと

ボランティア」を通じ、今後も地域住民から理解を得て活動を継続、発展させるとともに、地域の福祉保健計画と連動することで、より地域交流の発展につなげていきたいと考えている。

平成25年度のボランティア参加延べ人数は1,100名を越えるまでになり、今後、ボランティア活動の一部を「中間的就労」の場と位置付けていきたい。

そのほか、現在、生活困窮者自立支援法施行への取り組みを進めており、法人および種別を横断した地域の社会福祉法人による生活困窮者相談支援ネットワークを結成したところである。第一段階として、参加施設プロフィールを区役所の相談窓口に提出することから始め、今後は、本格的な相談支援、ニーズ把握、連携等を図ってきたいと考えている。

名称：てのひらネットワーク横浜

施設：ホームレス自立支援施設…1施設
救護施設…3施設
更生施設…3施設
婦人保護施設…1施設
母子生活支援施設…3施設
緊急一時保護施設 1施設
更生保護施設…1施設
無料低額診療施設…1施設
計 14 施設